

会議報告書

会議名	令和6年度 第3回三郷市介護保険運営協議会
日時	令和6年 11 月 19 日(火) 午後1時から午後2時
場所	三郷市役所 本庁舎 全員協議会室
出席者 (22名)	【会 長】 谷口 聡 【副会長】 今澤 正夫 【委 員】 近藤 由紀子、晝間 章、佐久間 史晃、秋葉 明、齋藤 義治 小川 孔美 8名 【事務局】 益子 敏幸(いきいき健康部長) 原山 千恵(いきいき健康部理事兼副部長) 中村 一之(介護保険課長) 平山 陽子(介護保険課長補佐) 石綿 英治(介護保険課主幹兼介護給付係長) 流 智子(介護保険課介護認定係長) 山根 花枝(介護保険課介護給付係主査) 森 里美(介護保険課介護給付係主任) 下口 涼成(介護保険課介護給付係主事) 茂木 光司(長寿いきがい課長) 岡田 美奈子(長寿いきがい課副参事兼課長補佐兼地域包括係長) 斉藤 嗣幸(長寿いきがい課長補佐兼長寿いきがい係長) 福田 千晶(長寿いきがい課地域包括係主査) 大杉 吉正(長寿いきがい課長寿いきがい係主査) 14名
傍聴人	なし
次 第	1 開会 2 委嘱書交付 3 市長あいさつ 4 委員・職員紹介 5 会長及び副会長の選出 6 議題 (1) 第8期介護保険事業計画実績報告 (2) その他 7 事務連絡 8 閉会
資 料	資料1－1 (第8期) 基盤整備の状況 資料1－2 総括表(埼玉県三郷市) その他 介護保険運営協議会委員名簿

	三郷市介護保険条例 三郷市介護保険運営協議会規則 介護の入門的研修&おしごと相談会のチラシ
--	--

【会議要旨】

1 開会

- ・司会者（中村課長）が開会を宣言

2 市長から委嘱書の交付

3 市長あいさつ

4 委員から自己紹介

- ・司会者（中村課長）から職員の紹介

5 会長及び副会長の選出（益子部長が仮議長）

- ・委員の互選により会長を谷口委員、副会長に今澤委員を選出
- ・会長あいさつ
- ・副会長あいさつ

6 議事

（1）第8期介護保険事業計画実績報告

谷口会長 議題1 第8期介護保険事業計画実績報告について、事務局の説明をお願いします。

事務局 （【資料 1-1】【資料 1-2】に基づき説明）

谷口会長 事務局の説明が終わりましたが、何かご意見・ご質問等はございますか。

齋藤委員 総括表詳細（1人1月あたり利用日数・回数）で訪問看護の令和4年度対計画比が142.7%、認知症対応型通所介護の令和3年度対計画比が1,236.4%となっている。これらの原因についてどのようにお考えですか。

事務局 令和3年度対計画比が1,000%を超えているのは、認知症対応型の通所介護ということで要支援の方をあまり想定しておらず、利用者が少ない。もともと対象者が少ないところに対象者が出ると大きくぶれが出てしまう。対象者が少ないとそのような傾向が出ると考えています。
訪問看護について、要支援が対計画比で大きい数値が出ていますが、こちらについては、想定よりも利用の回数が多かったということから、分析が必要と考えています。

谷口会長 その他何かご質問、ご意見のある方はいらっしゃいますか。

佐久間委員 訪問看護の利用者が130%台で3年間推移していて、利用者の想定を上回ったのが要支援のかたですが、おそらく介護ニーズというより医療系の訪問看護を使われる方が増えたということについて、今後の対策、これから起こりうる課題について何か抽出されていますか。

事務局 この結果を受けて、令和9年からの第10期計画の中でご意見をいただきながら、その対策を考えていかなければならないと思っております

佐久間委員 資料全体の数字は想定通りもしくは想定を下回っていて素晴らしいと思っています

が、先ほどのように 1,000%台、150%台のところを埋めるように施策を進めることによって、今後の施策が数値で語られるようになったらよいと思います。

事務局 この推計は国のソフトを使いそれをベースに計画をたてていますが、推計をそのまま使用するのではなく、修正して使っています。次回の計画では乖離の大きいところはそのあたりも考慮しつつ使いたいと考えています。

佐久間委員 国のデータベースでは、過疎化が進んでいるところや、東京 23 区では数字が大きく異なると思います。三郷市の要支援のかたが訪問看護をたくさん使われる背景を三郷市として掴んでいったほうがよいと思ったので情報収集と精査をしていただければと思います。

谷口会長 秋葉委員、その点について、何かお気づきはございますか。

秋葉委員 要支援で訪問看護は、医療的ニーズや先生の指示書も必要でしょうから、どのような形で導入されているのか、協議会で聞いてみて、皆さんにお伝えできればと思うのでお時間をいただきたいと思います。

事務局 こちらの表は一人ひと月当たりの利用日数、回数になりますので、利用者が多かったというよりも、利用した方の回数が多かったということになりますので、そのあたりを踏まえていただければと思います。

晝間委員 計画値に比べて 1,000%超えているのが認知症対応型通所介護ということですが、支援レベルのかたが認知症通所介護を使うという想定はあまりないという気がします。市民の意識が認知症の予防や進行を何とか食い止めたいという想いが強く、要支援のサービスから認知症対応のサービスを受けたいという想いがでているのかと思います。そのような想いをしっかりと受け止めて、ご家族の相談に乗ったり、予防にこういうふうな形で努めていますなど、アピールしたり、我々も力を入れてみると市民の方にお伝えしていければと思います。

谷口会長 その件に関して、事務局から何かコメントはありますか。

事務局 認知症対応型の通所ということで要支援の方が使われるのはあまりないと思います。しかし、使う方がいらっしゃると日数、回数を通われるので、次回第 10 期のときに見直しが必要だと考えているところです。

今澤委員 介護認定審査会では明らかに認知症があれば要介護の認定となる可能性が高くなるので、そのため計画値が低いのではないかと。介護保険を使うにあたって予防給付で認知症の通所介護は問題ないのですか。

事務局 認知症対応型通所介護ですが、要支援 1・2 も使えることになっています。介護認定で認知症であれば要介護という訳ではなく、要支援 1・2 になる可能性はあり得ます。

谷口会長 他にご意見のある委員さんはいらっしゃいますか。

近藤委員 被保険者に対する認定率が 16%とありますが、県内において多いのか、少ないのか。また、要支援において、要介護の割合についても同様に教えていただけますでしょ

うか。

事務局 今日では資料を持ち合わせておりませんので次回まとめて提供させていただきたいと
思います。

谷口会長 他に何かお気づきのある方はいらっしゃいますか。

(意見・質問なし)

谷口会長 なければこの件については以上といたします。

(2) その他

谷口会長 続いて、議題2 その他について、事務局から何かありますか。

事務局 1件報告があります。

(介護の入門的研修&おしごと相談会について報告)

谷口会長 ご意見、ご質問はございますか。

(意見・質問なし)

谷口会長 以上をもちまして、本日の議事は、すべて終了いたしました。

7 事務連絡

事務局 (今後の介護保険運営協議会開催予定について連絡)

8 閉会

・今澤副会長より閉会のあいさつ